

福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学） 月例報告書（2月）

留学先：Clemson University

氏名：奥村颯太

【はじめに】

留学生活が始まって2ヶ月が経とうとしています。1学期間の留学なのでもうすぐ留学生活の半分を消化することとなり、思っていたよりあっという間で若干困惑しています。最近では学内のCOVID-19の感染が収束してきたことで、週に1回のPCR検査と施設内でのマスク着用を義務づけるルールが取り下げられました。現在図書館内でこの報告書を書いているのですが、見渡す限りマスク着用している学生は僕1人です。スパッと切り替わるところがアメリカらしいなと思います。さて、今回は僕が取得している授業を紹介していきます。

【Spring 2022 Schedule】

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
	SOC-1010 Introduction to Sociology 8:00~9:15	SPAN-1011 Elementary Spanish Laboratory 8:00~8:50	SOC-1010 Introduction to Sociology 8:00~9:15	
	ECON-2050 Why Business? 9:30~10:45		ECON-2050 Why Business? 9:30~10:45	
SPAN-1011 Elementary Spanish 11:15~12:05	<b>HIST-3110</b> <b>History of African-American</b> <b>11:00~12:15</b>	SPAN-1011 Elementary Spanish 11:15~12:05	<b>HIST-3110</b> <b>History of African-American</b> <b>11:00~12:15</b>	SPAN-1011 Elementary Spanish 11:15~12:05
	SUST-2110 Sustainability Leadership 15:30~16:45		SUST-2110 Sustainability Leadership 15:30~16:45	

これが今学期の僕のスケジュールです。赤字で示したアフリカ系アメリカ人の歴史の授業は課題がリーディング・ライティングともにもものすごい量についていくのが難しかったため途中で履修取り下げ(Withdrawal)をしました。無念。授業は日本と異なり基本的に1科目あ

たり3単位で、Laboratoryがある科目は例外的に4単位です。ここからはそれぞれの授業について簡単に説明します。

- SPAN-1010&1011 Elementary Spanish

初級スペイン語の授業です。イメージとしてはGCS1年前期のスピーキングの授業のような形式で、毎回ペアワークの時間があるなど話すことに重点が置かれています。基本的に授業は最初から最後までスペイン語で進行していきますが、適宜英語で説明もしてくれます。授業と並行してオンライン上で課題が出されていくのでそれをこなして復習しています。

- SOC-1010 Introduction to Sociology

何か一つ単位交換できそうな授業を取っておきたいということで受講している社会学入門の授業です。完全講義形式で100人くらいの学生が受講しています。教科書のリーディングと授業後に毎回オンライン上で出される課題をこなしながら、2セッションごとにあるテストに向けて勉強します。

- ECON-2050 Why Business?

中止になった秋学期から取ろうとしていた授業です。社会の中でのビジネスや市場経済の役割について考えるという内容でかなり面白いです。リーディングは週に10~20ページ程度ですが、アダム・スミスの著作など古いものも含まれるため、知らない単語や文法も多く難しいこともあります。約2週間に1回Position Statementの課題があり、内容を添削してもらえるためライティングやディベート能力の向上も期待できます。割と規模が大きな授業ですが学生が考えて発言する機会も多いです。周りの勢いに押されて僕はあまり発言できていないので、その辺はこれから頑張りたいところです。

- HIST-3110 History of African-Americans

大航海時代から南北戦争終結までのアフリカ系アメリカ人の歴史を振り返る授業です。完全講義形式で、月に1回ペースで作文の課題があります。リーディングは教科書が5冊あるのに加えて、図書館から授業に関連する本を2冊探して読むと言うものでした。シラバスを読んでいる時点で厳しい戦いになることは予想していましたが、やはり課題のペースについていくことができず1ヶ月半くらいでドロップすることになりました。講義自体は高校世界史で触れられないことばかりでとても面白く、福井大学の協定校でもクレムソンでしか受けられない内容だと思うので、歴史好きの方はぜひチャレンジしてみてください。

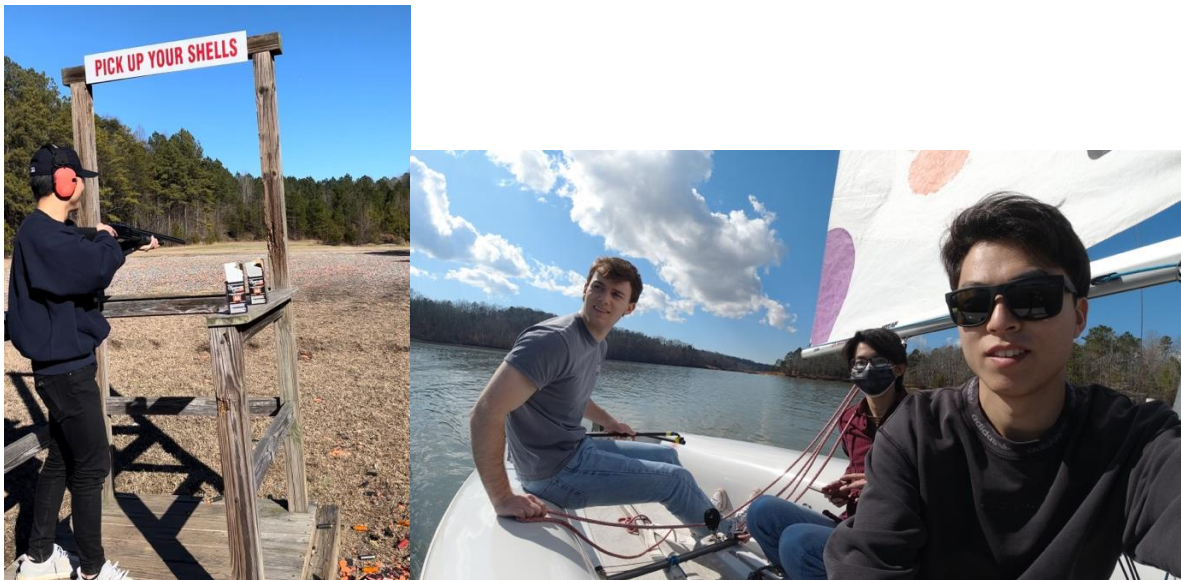
- SUST-2110 Sustainability Leadership

これも秋学期から取ろうとしていた授業で、気候変動などの環境問題とそれに対処する上で必要なリーダーシップについて考える授業です。教授やゲストスピーカーによる講義を聞いた後、またはTEDなどの動画を見た後でそれについてクラスで議論すると言う流れが多いです。グループワーク、グループディスカッションの時間も確保されています。リーディングが多い週もありますが、それについてのクイズは簡単なものが多いです。

英語で講義を受けることについて不安に感じている方もいるかとは思いますが、福井大学の英語開講の授業についていけるなら問題なく理解できる内容だと思います。これまでに教授の話すスピードが早いと感じたことはありませんし、講義中に動画を見る場合も必ず英語字幕がつくなど英語能力が低い学生にも配慮がなされているように感じます。

一方で難しいのがリーディングの課題です。当然ながら専門用語など知らない単語が多く出てきますし、一部の授業で扱われる学術的な文章では単語だけでなく文章自体のレベルも高いので理解するのにさらに時間がかかっています。留学前にTOEFLやTOEICよりも1段階難しい文章に触れておく方が良いのではないかと思います。

長くなりましたが以上が2月の報告です。次回は授業以外の生活について紹介します。



左：ルームメイトとショットガンを撃ちに射撃場に行きました

右：セーリング部の体験会に参加しました